



高小だより

津市立高茶屋小学校

平成29(2017)年12月

文責：校長 伊庭 正彦

学校教育についての保護者アンケートから

11月に実施いたしました保護者アンケートの結果をお知らせいたします。下記の10項目について、「A…そう思う、B…どちらかといえばそう思う、C…どちらかといえばそう思わない、D…そう思わない」の4段階で学校の評価をお願いしました。AとBを合わせた肯定的な評価は、どの項目も80%以上でしたので、一定の評価をいただくことができました。

しかし、Aの評価に限れば3と8以外は、「そう思う」と答えた方が3割程度ですので、学校としては努力が必要であると感じています。

また、自由記述で「学校の教育活動にご意見、ご要望等」を書いていただきましたが、お二人以上からいただいたご意見を紹介いたします。

	評価項目	A	B	C	D
1	教育方針をわかりやすく伝えていきますか。	27	56	12	5
2	子どもの相談や悩みに誠実に応えていると思いますか。	30	57	10	3
3	子どもは学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	56	32	10	2
4	基礎学力の定着を図ろうと、きめ細かい指導や工夫を行っていると思いますか。	30	53	15	2
5	子どもたちの安全について十分指導していると思いますか。	33	50	12	5
6	一人ひとりの子どもの理解に努め、良さをのばそうとしていると思いますか。	28	52	16	4
7	人権を大切にする教育を進め、子どもたちが互いに違いや良さを認め合う仲間づくりに努めていると思いますか。	38	52	8	2
8	授業や行事に参観・参加する機会をよく設けていきますか。	58	39	2	1
9	保護者・地域の声に耳を傾け、願いに応えようと努力していると思いますか。	31	51	14	4
10	意見・要望が言いやすいと思いますか。	29	50	14	7
		(数字は%)			

- ・子どもの送迎等で車を乗り入れる保護者が多くて、子どもが危険である。(5)
- ・授業参観等の重なりがある。(10, 11月に多い、中学校との重なり)(3)
- ・授業参観等を土曜日にしてほしい。(2)
- ・土曜授業が少なくなり、学力が心配。(2)
- ・台風で休校になる時、(文書だけでなく)メールで連絡してほしい。(2)
- ・あいさつができない子どもが多い。(2)

()内の数字は同様の意見数

他に学校や教職員へのねぎらいのお言葉もありましたが、中には学校への厳しいご指摘もありました。「良薬は口に苦し」と考えて、今後の学校づくりに活かすようにしていきたいと思います。

「スマホネグレクト」って、ご存じですか？

スマートフォンの普及によって大きな社会問題化しているものに「スマホ依存症」があります。SNS依存や子どものゲーム依存などさまざまな影響が出ていますが、新たに問題視されているのが、親がスマホに夢中になるあまり子どもを無視してしまう「スマホネグレクト」です。

「ネグレクト」とは、英語の「怠慢」、「無視」からの言葉で、育児放棄という児童虐待の一種です。「育児放棄や虐待なんてとんでもない!」と思うかもしれませんが、この「スマホネグレクト」は、育児放棄している自覚なく行っていることが多いのが特徴です。



例えば、次のようなケースはどうでしょうか。

あるお母さんが、子どもが欲しがっているグッズを見つけようとスマホで一生懸命、検索していました。その時、子どもが甘えて話しかけてきました。お母さんは、最初は上の空で答えていましたが、子どもは何度も何度も「お母さん」と話しかけてきました。そして、子どもは「お母さんはいつもスマホばかり見て」と言いました。お母さんは、子どもに声を荒げて強く叱ってしまいました。

このように最初は、大事な子どものためにスマホを使っていたはずなのですが、何が大事なのかが見えなくなってしまって、このネグレクト（育児放棄）は起きてしまったのです

最近子ども連れで公園に来ていても、ベビーカーを抑えながらスマホを見ていたり、子どもを遊ばせているそばでスマホを操作して、子どもを全く見ていなかったりする光景を見かけることがあります。このスマホネグレクトは、「愛着障害※」という大きな問題を引き起こし、子どもの健康な成長・発達を妨げる危険な行為であると専門家からは指摘されています。

スマホは便利な道具です。現代社会ではなくてはならない物かもしれませんが、使い方に関しては、お互いに気をつけたいものですね。

※ 一般的に愛着障害とは、養育者との愛着が何らかの理由で形成されず、子どもの情緒や対人関係に問題が生じる状態のこと

ノーメディアデー

南郊中学校区の公立の保育園、幼稚園、小中学校が連携して、テレビ、ビデオ、DVD、ゲーム、携帯電話、スマホ、パソコン等を使用せずに、学校から帰宅後の時間を家庭学習や読書などで過ごすノーメディアデーを11月27日に実施しました。実施後のご感想やご意見をたくさんの方からいただきましたので、その一部をご紹介します。



- ・ノーメディアをしてみて、大人の私たちも子どもと何かするふれあう時間ができました。お料理の手伝いをしてもらったり、学校の話をつゆくり聞いたり。子どももテレビなど見なくても、自分で考えて絵をかいたり、ぬり絵をしたり良い時間が過ごせたと思います。
- ・週に1回実施してもいいなと思いました。家族みんなでテレビやスマホを見ずに会話をして楽しく過ごせました。子ども自身も意識して「ノーメディアデーだから〇〇しよう」という風になっていました。
- ・とても素敵な取組だと思います。ゆっくり食事しながら家族で会話を楽しみました。また、いつも以上に自主勉に取り組んでいました。家庭でも読書デーなど決めて挑戦したいです。
- ・宿題が終わってすぐは、ゲームをやりたいくてしかたがない様子でしたが、しばらく経つと兄妹で遊び始めていました。たまには、いいと思います。
- ・夕飯の時に学校であった話を話してくれ、普段よりも会話がはずんでよかったです。次の日は、反動でゲーム三昧になりましたが…。
- ・親の私の方がメディアに頼っているなとあらためて感じました。私も使用時間を考え直さないといけないと思いました。よい機会でした。

ご感想やご意見をいただいた方からは、おおむね好評でした。今後も実施していくことになると思いますので、それぞれのご家族の実情に合った方法でチャレンジしていただければと思います。ご協力ありがとうございました。